

# 社会福祉法人芦別慈恵園 第14回 まちづくり講演会

## アンケート結果

参加者 220 名中 188 名の回答をいただきました。(回答率 85.45%)

① 性別 ( 男性 36 名 ・ 女性 152 名 )

② 年代 ( ~10代 0名・20代 2名・30代 5名・40代 12名  
50代 15名・60代 28名・70代 73名・80代以上 52名)

### ⑥映画「オレンジ・ランプ～感動の実話～」の感想をお聞かせください

- ・認知症の見方が変わりました。理解することが大切と分かった。
- ・家族愛とか周りの人たちの理解の素晴らしさに感動した。
- ・認知症は分かっているが声に出すのは大変。でも周囲の人たちの助けにより自分自身も前向きになれることが分かりました。勇気をもって生きていけると分かった。
- ・若年性認知症のことをもっと知りたいと思った。
- ・素敵な映画でした。認知症はまだ理解できていないところがありますが、ともに理解し合って生きることができる、本人も出来ることがたくさんあると思いました。家族の理解・愛・周りのサポートに感動しました。
- ・上映に感謝します。わずかながら知ることができました。
- ・認知症についての理解がより深まったと思います。
- ・他人事でないこととあらためて思いました。病気になって出来ないことが増えても、その人自身が失われることはない。自分もそう思いたい、思われたいと思います。
- ・会社では、映画のようにみんなが協力してくれない。
- ・諦めず前向きな気持ちで自分も出来ることを頑張ろうと思いました。感動しました。
- ・本人も辛いと思いますが、家族が受け入れることと本人が楽しく普通に生きられるように考えて関わるのは大変だと思いました。
- ・認知症だからとすべてを取り上げるのではなく、困ったことを助けてあげる、困ったと声を上げることも大切だと思いました。
- ・認知症について新たな思いを感じ、お話しも必要ですが映画を通して皆様に理解してもらうことで分かりやすかった。
- ・自立支援の一つと考えます。とても感動しました。
- ・認知症の方に対する見方が変わった。優しさが本人を苦しめているところがリアルだった。
- ・認知症になっても出来ることがあり、それを支えて行けたらいいと思いました。
- ・病の介護は何でも大変だと思いますが、認知症は元気に見えてそうでない大変さもある。自分になったら出来る、出来ないをはっきりできるかな～？
- ・たくさん胸にしみる言葉があった。「あなたが忘れても俺たちが覚えている」「思いやりの心をそんなに社会に」「何もできないのではない、やれることを取り上げないで」
- ・最近をよく新聞などで認知症のことを目にします。2025年には5人に一人がなるとのこと、他人ごとではないと感じています。今は健康に気を付けて夫婦で元気でいたいと思います。
- ・認知症になったら絶望する、恥ずかしい、そんな思いがあり嫌だと思っていたが、出来ることをやり他の人に助けてもらいながら前向きに生きて行くということを学びました。
- ・映画を見れてとても良かったです。ありがとうございました。認知症の事をもっと学んでみようと思いました。

- ・義父を20年認知症で見送りました。今実母を見ています。苦しくもあり大変でした。
- ・家族の絆、仲間、友達は本当にいいものですね。
- ・本を読んでいたのでぜひ映画を見たかったです。とても心温まり前向きで素晴らしい映画でした。ありがとうございました。
- ・こんな理想的な世の中を実現出来たらいいと思います。
- ・最初は何もできないと家族は何もかもやってあげていたが、街の人も家族も自分は出来ると本人が言ったことを信じている姿に感動しました。
- ・正しい知識を持って関わっていく必要があると感じられる作品でした。
- ・認知症の家族や当事者の気持ちが分かりやすい。
- ・障害の方を差別することなくみんなが優しさを持って接してくれるといいですね。
- ・悩んだり期待したり先走ってはいけない、ともに歩むことが必要、大切なことであることが分かりました。
- ・認知症について深く知れました。障害を持った方々が住みやすい町づくりが大切だと思いました。
- ・認知症になっても家族や社会に支えられ前向きに生きている姿に心が打たれました。また認知症を理解し地域で支えて行くことが大切なことだと思いました。
- ・認知症のご本人の気持ちを初めて知ることが出来て支え手側として大変勉強になりました
- ・認知症の考え方が少し変わった。
- ・認知症を誤解していたと思います。
- ・人を頼ることの大切さ、また自分を素のままに生きることの大切さを教えて頂きました。
- ・認知症の人が生きやすい世の中にしていくためにどうすべきか。色々考える機会となった。
- ・生きていくことへの不安が少しはなくなりました。見に来て良かったです。
- ・誰にでも有り得ること、周りや家族の理解と支えが大事と思った。でも家族は無理しすぎないこと。
- ・苦労、苦しみ、悲しみ、世の中の不幸を背負って生きていくと思っていたが少しは考えが変わりました。
- ・職場の協力があってのことではありますが、中々できることではないと思うので、自分ができるかと言ったらどうだろうかと思います。またご家族も素晴らしかったです。

その他にもたくさんのご感想をいただきました。ありがとうございました。

## ⑦毎年当法人ではまちづくり講演会を開催しています。

関心のあるテーマについてお知らせください

健康について 62名・元気になる取り組みについて 48名・  
 認知症について 66名・看取りについて 34名・  
 介護保険制度等について 30名・  
 その他 3名 ・慈恵園の取り組みの仕組みが知りたい、  
 ・どんな施設に入れるか聞きたい、  
 ・休憩時間、トイレタイムを入れて欲しかった

ご協力ありがとうございました。

社会福祉法人 芦別慈恵園  
 令和6年9月13日実施